

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	松が谷福祉会館 こども療育室			
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～	令和6年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援： 161名 放課後等デイサービス： 3名	(回答者数)	児童発達支援： 144名 放課後等デイサービス： 2名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～	令和6年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	37名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多職種による支援	・グループ療育では、職員の配置をグループの特性に応じて適切な配置となるように、心理士、言語聴覚士、作業療法士、保育士の職種のバランスや人数等を考慮している。	・安定した支援が提供できるように、グループ前後の打合せやケース会議等で、お子さんの見立てを共通認識したり情報共有をしたりし、日々の職員間連携を大切しながら、より質の高い支援を目指していく。
2	・お子さんの所属園との連携	・保護者のご希望をお聞きしながら同意の下で連携を進めている。お子さんの所属園に訪問もしくは電話等での情報共有や必要に応じて助言をしている。 ・園からの療育の様子の見学も随時受入れている。	・お子さんやご家族の日常生活や社会生活が円滑に営めることを意識し、療育での経験が生活の中に活かされるようにしていく。
3	・満足度が高い	・お子さんが「やった」「できた」の達成感が得られるように発達段階に合った活動や関わりの工夫をしている。お子さんの行動や職員の関わりの意味を十分に説明したり、ご家族の思いにも丁寧に対応するように心掛けている。	・みなさんの嬉しいご意見を励みに、お子さんとそのご家族の方の気持ちや様子に心を配り、少しでもご満足いただけるように今後も努めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物の老朽化	・経年劣化に伴う設備の使いにくさや心配がある。	・日々の環境整備、清掃を通して、明るい雰囲気心掛け、安心して通所していただけるように努めていく。 ・現在、「(仮称)北上野二丁目福祉施設基本計画」が策定され、移転に向けて計画に沿って整備を進めている。
2	・情報の発信や周知の仕方に工夫が必要	・保護者への連絡、情報提供は、現在、主に電話と紙ベースである。	・利便性と業務効率を上げるために、他のツールの使用の検討が必要である。
3	・保護者同士の交流の機会を求める声がある	・グループ療育後の振り返りの機会を設けているが、運営上の都合により時間に限りがあり、不足を感じる意見に繋がった。	・保護者連携の期待を改めて認識している。希望に合わせてより充実した連携が提供できるように工夫していく。

事業所名	松が谷福祉会館 こども療育室
------	----------------

公表日 令和7年1月31日

利用児童数	児童発達支援 放課後等デイサービス	161名 3名	回収数	児童発達支援 放課後等デイサービス	144 2
-------	----------------------	------------	-----	----------------------	----------

	チェック項目	評価					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答		
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	138 (2)	5	1	0	0	・十分な広さです。 ・十分だと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な支援に努めていますが、お子さんの自主性や判断を促したりする場面などで見守る体制をとる場合があることをご理解いただきますと幸いです。 ・定員、職員配置等、基準は満たしていますが、より良い環境を求められていることを認識します。職員配置では、グループの特性に応じて適切な配置となるよう、職種のバランスや人数等を考慮していきたいと思えます。 ・建物の老朽に伴う設備の使いにくさや心配があることは認識しています。今後も設備や環境整備、日々の清掃などを通して清潔で明るい雰囲気作りを心掛け、安心して通所していただけるよう努めていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	137 (2)	6	0	1	0	・クラスによると思う。 ・足りている時とそうでない時があった ・手厚いです。 ・適切というより、すごく手厚くありがたいです。 ・グループの時にもう1名いて欲しいと思う場面はありました。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	129 (1)	12 (1)	0	3	0	・トイレが新しくなると良いです。 ・一部の教室しか利用がないためわからない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	131 (1)	13 (1)	0	0	0	・親も付き添い必須なので、トイレの数を増やしてもらいたいです。 ・清潔ですがとても古い。 ・コロナのときも安心して通所できました。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	134	7 (2)	1	1	1	・もう少し言葉に特化した個別指導が多くあるともっと良くなると思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・心理や言語・運動面の標準化された各検査により全体の発達状況を把握したうえで、児童発達支援管理責任者を含む多職種によりガイドラインに基づく支援計画の作成及び活動プログラムの決定を行っています。また、支援前後の綿密な打合せやケース会議、様々な機会を通し総合的な判断のもと支援計画やプログラムの見直しを行っています。今後も、保護者の希望や願いをお聞きしながら、一人ひとりのお子さんに合わせた支援計画の設定や工夫された活動プログラムを提供に努めていきます。 ・就学の際には、保護者のご希望で就学支援シートを活用し、小学校に支援を引継いでいます。また、転居の際には、情報提供書の作成や必要に応じて直接送付をするなど、連携をとっています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	132	4 (2)	0	8	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	135 (2)	5	2	2	0	・年長からは、適している集団療育に入れたが、年中の相談グループではなく今のメンバーの療育を受けたかった。 ・保護者が考える目標を伝える前に支援計画が作成されていた。	
	8 個別支援計画には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	130	8 (1)	0	6 (1)	0	・紙を渡されて軽く説明される感じで、より細やかな説明（個人に応じた具体的な支援）がされるといいと思う。 ・ガイドラインが頭に入っていないので、わからない。 ・本人支援はあると思いますが、移行支援は？	
	9 個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	134	8 (1)	0	2 (1)	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	128 (1)	9	2	5 (1)	0		
保護	11 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	133 (2)	6	2	2	1	・すみません。あまり覚えておらず… ・年度の途中で利用したのもあるが、スケジュールやプログラムの内容が分からなかった。 ・利用前に説明はなかった。ダウン症だから、このクラスというはじまりに違和感がありました。	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会に参加させてもらっています。 ・もっと色々な研修会や情報提供が増えると嬉しい。 ・託児サービスもあり、公演に集中できました。 ・活動を見たい気持ちもありますが、同じグループの親御さんと職員の方と話す時間をもっと長くして欲しいと思うことがあります。 ・担当者と専門職が連携して対応しています。お子さんの発達状況に関する相談のほか、家庭のことや様々な悩み、心配事を軽減できるよう今後も丁寧な支援に努めていきます。
	12 「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	142 (2)	2	0	0	0	・今やっている活動が本人のどんな特性に合っていて、どう改善が見込まれるか説明してほしい。	
	13 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	112 (2)	22	1	9	0		
	14 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	132 (1)	11 (1)	1	0	0		
	15 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	131 (1)	12 (1)	1	0	0	・電話でも相談に乗ってくれています。 ・個別の際に少しお話が聞ける。	

者への説明等	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	133 (1)	8 (1)	0	1	2	・子どものことをよく理解し、相談も適切なアドバイスをいただいています。 ・とても親身です。	・契約時に丁寧な説明に努めてまいります。また、プログラム内容、スケジュール等ご不明な点がありましたら、担当もしくは児童発達支援管理責任者含め職員にいつでもお尋ねください。
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	51	41 (1)	13	36 (1)	3	・同じ悩みをもつ保護者と話し合える機会があればいいです。	・保護者同士の交流への期待を改めて感じています。ご希望に合わせて充実した連携支援が提供できるように今後の検討に繋げていきます。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	120	12 (1)	0	10 (1)	2		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	126 (1)	10	2	4 (1)	2		
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	63 (1)	32	7	40 (1)	2	・紙ベースではいただいています。	
	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	132 (2)	5	0	5	2		
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	116 (2)	12	0	13	3		
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	101 (2)	18	0	22	3	・不明。 ・説明がある。	・各種マニュアルを策定して職員に周知徹底しているほか、必要に応じて情報掲示を行っています。
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	119 (1)	12	0	11 (1)	2	・不明。	・保護者を行う避難訓練は、避難経路確認のみですが、職員は計画に基づく訓練を実施しています。
	25	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	98 (1)	15	0	27 (1)	4	・事故、怪我はありませんでした。	
満足度	26	こどもは安心感をもって通所していますか。	138 (2)	3	1	0	2	・施設に問題があるというわけではないと思うのですが、落ち着いていません。	
	27	こどもは通所を楽しみにしていますか。	138 (2)	3	1	0	2	・その日の気分によります。 ・どこへでも行き渋りしています。 ・いつも楽しく取り組んでいます。 ・楽しみにしていることもありますが、ここ1年は不安定です。 ・いつもと違う場所なので怖がることはありません。 ・嫌がることはなく、行き渋り等もありません。 ・先生の皆さんにはとてもよくして頂いています。 ・本人の通所拒否はよくあり、ご迷惑をかけております。 ・初めは泣いていたけれど今では月2回をととても楽しみにしてくれています。	・多数の方に楽しみにしている、支援に満足していると回答をいただき、とても励みになります。全てのご意見、ご要望にお応えすることは難しいですが、今後も一人ひとりのお子さんご家族に合わせた支援を心掛け、少しでも満足に近づけるように努めていきます。
	28	事業所の支援に満足していますか。	126 (1)	15	1	0 (1)	2	・改善をあまり感じない。通う意義を感じられない。	

※()は、放課後等デイサービスの集計数

《その他、自由意見（一部抜粋）》

- ・本人はとても楽しく通っており、ここに通わせていただいたおかげで保育園での活動もとくに問題なくこなせています。先生方には感謝しかありません。引続きどうぞよろしくお願いいたします。
- ・一度も嫌がらずに通所しています。ありがとうございます。
- ・フィードバックの時に色々相談できるので助かります。
- ・幼稚園と違い、お友達との関わり合いを細かく、ていねいに説明してくれるので、助かっています。本人も楽しそうに過ごしているので、小学校に上がってからも、こういう支援を継続して欲しいなあと思います。
- ・毎回丁寧な説明をしてくださり、相談にもものっていただいております。いつもありがとうございます。
- ・こどもの個性に合わせて丁寧な支援をして頂いています。
- ・言葉にできない不安なことなどを感じとってください、わかりやすく説明してくださった。毎回。
- ・先生方もいつも子供に寄り添ってくださって、子供も安心して楽しく過ごせています。ありがとうございます。
- ・いつもとても丁寧に指導して頂いているので、子供も嫌がることなく楽しく通えています。
- ・担当の先生が丁寧に説明してくれて集団プログラムの目的やねらいは、なんとなく理解しました。が、プログラムをうけたことによって、どんな姿になるのかがイメージがつかずです。
- ・療育の内容には満足していますが、支援の切れ目の問題があり就学後の相談先が変わることや放デイについての情報提供があるとありがたいです。
- ・言語訓練等もっと受けてみたいです。
- ・年間の予定について、曜日や時間の決定、連絡を早めにいただきたいです。今年度も3月末ぎりぎりだったため、仕事や保育園行事との兼ね合いを調整する時間がタイトでした。ご配慮いただければありがたいです。
- ・支援計画の文言などが抽象的で分かりにくいところがあります。

アンケートへのご協力ありがとうございました。今後もお子さんと保護者の方の気持ちや様子に心を配り、少しでもご満足いただけるように努めていきます。また、頂いたご意見やご要望に少しでも近づけるように今後の事業運営に活かしていきたいと思っております。

事業所名	松が谷福祉会館 こども療育室		公表日		令和7年1月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、職員配置を確認し、そのときの状況に応じてサポートし合う体制を整えている。 ・環境整備、日々の清掃などを通して清潔で明るい雰囲気作りを心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準に準じた定員、スペース、職員配置等になっているが、グループの特性によっては、職員が足りないと感じることがある。 ・建物の老朽化から施設の使いにくさや心配がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・より良い支援を検討するための会議(外部講師含む)や外部研修への参加により、更なるスキルアップを図っている。 ・職員打合せや職場内研修、自己評価、第三者評価(令和4年度実施)を通して業務改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、日々の業務、支援を振り返る機会を設け、業務改善に努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・心理や言語、運動面の標準化された各検査により全体の発達状況を把握し、児童発達支援管理責任者を含む他職種で計画を行っている。 ・支援前後の打合せやケース会議等々の様々な機会を通し、総合的な判断のもと支援計画やプログラムの見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、一人ひとりのお子さんに合わせた支援計画の設定や工夫された活動プログラムが提供できるように、職員同士連携をとりながら進めていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○			
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・公立、私立問わず保育園、こども園、幼稚園等との連携を保護者の同意のもと行い、情報共有や相互理解を図っている。また、連携をとることを通じて地域全体の子育て支援力の向上に努めている。 ・家庭支援プログラムの一環として、外部講師を招き講演会を開催している。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
保護者への説明等	33	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	34	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、計画の説明等より丁寧な説明に努めていく。 ・保護者への連絡は、現在主に電話と紙面になっている。利便性と業務効率を上げるために、他のツールの使用の検討が必要である。 ・家庭支援プログラムとして、就学、就園に向けた情報提供、0・1・2歳児の交流の機会などを設けている。きょうだい児支援については、活動の見学は随時受け入れ、療育の雰囲気を感じていただく機会はあるが、改まった形でのきょうだい児支援は現在行っていない。ニーズに合わせた家族支援のあり方について検討していく必要を感じている。
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		

	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		<p>・各種マニュアル、計画を策定しそれに沿って、職場内研修や訓練を行っている。</p> <p>・食物アレルギーについては、食事の提供を行っていないため非該当。小麦粉粘土などアレルギーを起こしうる素材は教材に使用しないようにしている。</p>	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○			